

Title	次号目次 前号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1961
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.54, No.6 (1961. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19610601-0088">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19610601-0088</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

次号目次

論 説

いわゆる「従者制と恩貸制の史的「体制」について……………宇尾野久

一八九〇年代から一九一四年にかけてのドイツ労働運動における若干の問題……………飯田 鼎

資 料

十七世紀フランスの領土制……………渡辺 國廣

学界展望

協同組合理論をめぐる問題点……………平野 絢子

書 評

マズグレイヴ『財政理論』……………大熊 一郎

W・シャイラー著、井上勇訳『第三帝国の興亡』……………飯田 鼎

——ヒットラーの拾頭——……………寺 尾 誠

松田智雄著『宗教改革』……………持丸 悦朗

R・S・ハウエイ著『限界効用学派の生成』……………持丸 悦朗

——一八七〇〜一八八九年——……………深海 博明

土屋六郎著『経済成長と国際収支』……………深海 博明

新刊紹介

前号目次

論 説

社会政策と生活構造……………中鉢 正美

第一次大戦後の農業恐慌の性格(上)……………常盤 政治

資 料

経済活動の地理的側面に関する古典学派の所説……………高橋潤二郎

学界展望

信用形態にかんする覚え書……………飯田 裕康

書 評

財政学研究の最近の一動向……………大島 通義

吉岡金市著『森近運平—大逆事件の最もいたましい犠牲者の思想と行動』……………飯田 鼎

『ラブルール』——一つの存在形態——……………渡辺 國廣

山田盛太郎著『日本農業生産力構造』……………寺 尾 誠

アラム・ヴァルタニアン著『ラ・メトリーの人間機械論』……………野地 洋行

……………野地 洋行

新刊紹介

編集後記

経済予測とはむずかしいもので往々にして反対の結果を生ずる。戦後政府筋の予測ないし計画は常に成長率を過小評価した(昭和二七〜三〇年頃)、その見解はつづけられた。三二年春神武景気が終ると過大投資による設備過剰により国際収支は改善せず、不況は長びき、なべ底型を呈すると宣伝された。その後三三年の初めより株価が上昇しはじめたが、不況が回復しないのに株価だけ上がるはずがないというのが政府・銀行筋の一般の見解であった。ところが半年たってみると景気はV字型に回復していることが確認された。前にあれほどさわがれた過剰設備は過少になり、各社は又神武景気を大幅に上廻る大増設に乗りだした。そして三四年岩戸景気が出現した。成長率は予想の二倍を越えた。しかしなお三五年下半期不況説がねづよく唱えつつけられていた。これも間違いでであると知るにいたって三五年半ばより遂に政府筋は強気に転換した。今日もこれがつついている。

中小企業から大企業への道はけわしいが、一、時流に乗る、二、独占的商品の開発、三、技術革新と企業系列の活用、によりこれを達成できることも事実である。最近の発展企業から、一に属するものとして、佐藤工業・藤井製作所・東洋運搬機等、二として、日本オイルシール・日本化学産業・特種製紙等、三として横山工業・日本蓄電池等をあげることができよう。ソニ―・本田技研の時代は一段落したと考えてよいが、第二のソニ―・本田をめざす企業は続々と登場している。

(佐藤)

昭和三十六年六月一日 発行

◎三田学会雑誌 第五十四巻 第六号

定価 九〇円(送料別)

東京都港区芝三田二丁目二番地

慶應義塾経済学会

編集兼 代表者 山 本 登

電話三田(45)五一八一 振替口座番号 東京四四〇五六

印刷者 東京都港区芝三田豊岡町八番地 安 倍 七 郎

郵 書 印 刷 株 式 会 社

半カ年予約購読料(送料共) 五四〇円

一カ年 " " " 一〇八〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

東京都高輪局区内三田綱町一番地

発 売 所 慶 應 通 信

振替口座番号 東京一五五四九七